

## 1. はじめに

広島県腫瘍登録事業は、昭和48年（1973年）4月1日から開始され、まもなく事業開始から40年が経過しようとしております。長きにわたる各施設のご理解とご協力の賜であり、本事業に尽力いただいた諸先生方に感謝申し上げます。

さて、腫瘍登録事業は平成17年（2005年）より広島県地域がん登録と一体化をはかり、広島市地域がん登録を加えた三者によって広島県のがん登録を構築しております。特に腫瘍登録からの病理情報は広島県のがん登録の精度向上に寄与しているものと自負しております。

このたび、腫瘍登録のデータ集計を基に、広島県腫瘍登録報告書 No.36を作成いたしましたのでお届けいたします。

平成24年（2012年）は50,804件の腫瘍を受け付け、事業開始から平成24年（2012年）末までの総登録受け付け件数は1,110,747件に達しました。

本報告書の最初に「グラフで見る2008年のデータ」として、平成20年（2008年）に腫瘍と診断された腫瘍登録の結果をまとめました。二次医療圏別・部位別にみた悪性腫瘍の登録数・登録率においては、福山医療圏からの登録率が向上しております。乳がんの登録受け付け件数も2004年診断のものから増えていることも、この報告書から読み取れます。最新の情報を掲載しておりますので是非ご覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

次に、特定臓器解析では、「精巣腫瘍」の解析を行いました。症例数は多くないものの、グラフを用いてわかりやすく丁寧な解析を心がけました。興味深いデータとなっております。

疫学研究に限らず、腫瘍登録事業で収集した貴重なデータを活用し、広島県の目指す「がん対策日本一」を支えて行きたいと存じます。これからも本事業に対して、ご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

平成25年3月

広島県医師会長

広島県腫瘍登録委員会委員長

平 松 恵 一